

十月一日

朝十時京王稲田堤厚生館。近藤理事長と打合わせ。昨夜友美が持ち帰った新潮最新号読む。小特集として建築がピックアップされている。磯崎新の日本的なモノを巡つての座談、そして柄谷行人の小論文の二本立て。柄谷さんの論文は今春のバウハウスでの講演をまとめたもの。座談は磯崎、浅田彰、福田和也、岡崎乾二郎によるもの。アメリカ資本帝国主義に対する無力感の表明になりつつある現代のインターシヨルスタイルらしきに対するささやかな批判が基調にあつたのは良かった。スーパーフラットなど退行性キャピタリズムの影なのだ。近藤理事長との打ち合わせ十二時前終了。十三時研究室。厚生館の設計作業に関してM1は良く頑張った。

十五時スタジオG。CY・LEEと共にクリティーク。学生の力は確実に上がった。十九時前、CY・LEEと磯崎アトリエへ。鈴木博之先生とアトリエで合流。CYのあいさつ、その他。その後、近くのレストランで食事。批評と理論委員会の骨子等決める。その他幾つかの事を相談。磯崎新とみに国籍不明の大親分風になつてきたのを実感。いささか飲んだ。

十月二日

日刊建設新聞の一年遅れの原稿書く。七時から十時迄。上海Gスタジオに磯崎さん。鈴木さん共にスケジュールが合えば参加し

てくれそうで心強い。十一時世田谷村発。十二時バツタリ東大の松村秀一先生に早大近くの路上で遭遇。昼食を一緒にする。私にとつては良い偶然で色々話し込む。難波和彦先生の技術と歴史研究会への入会を依頼、了承を得る。十三時教室会議。今日は珍しく李祖原体調崩し休み。早く台北の病院に行きたいとの事で、明日早朝の便で台北へ一度戻る事になった。大事な体だ無理をしてもらつては困る。明日からM1はフィンランド展の会場設営に出掛ける。